

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和2年12月1日 ～ 令和3年3月15日
調査研究事項	Ⅲ：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究 Ⅳ：夜間中学における教育機会提供拡充に係る調査研究
調査研究のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未就学者は引き続き潜在的に偏在していると推察されることが考えられる。そこで文花中学校のこれまでの生徒募集の成果を鑑みた広報活動を推進し、義務教育未修了者に対して周知に取り組む。 2. 日本語教育については指定の教科書が配付されているわけではない。そのためテキストを自主的に選択しているが、適正な内容を備えたものが選択されているかどうか定期的に見直しを行う必要がある、より生徒の実態に応じた教材の選択をしていかなければならない。さらに日本語教育について研修を行うとともに、ICTによるフリー教材について情報を交換し、その活用を図る。 3. 夜間学級には、高齢者への対応や給食時、入学相談等独自の事情があるため、新型コロナウイルス感染症による教育活動への影響を調査し、今後の対応に努める。
調査研究の成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広報活動の活発化を図るために学校案内パンフレット（B4版三つ折りカラー）300部と校舎前に野立ての看板を改修設置した。 これは入学相談時に、何によって夜間学級を知ったかを聞き取りをしていることから、パンフレットや関係団体、駅等に張られたポスター、野立ての看板が効果があることが判明していたことにより行ったものである。 パンフレットを増刷して近隣の団地等に約3,000枚配布し周知を図った。 それにより電話での入学問い合わせが若干名増加した。その効果については今後のさらなる経過観察を行う必要がある。 また、入学相談をマニュアル化し、外国籍生徒の場合には、複数名で対応することにより、入学時の状況を幅広く把握することができるようにした。 2. 日本語教育の充実については、テキストについて検討、講師を招いて日本語教育指導についての研修会を行った。 テキスト検討については市販のテキストの中から「文化初級日本語」文化外国語専門学校編を選び検討を加え、メインテキストにできるかどうか考察した。このテキストは各国語単語集など無料でダウンロードできる便宜が図られ、扱われているトピックも親しみやすく、レベル的にも夜間学級で使用できると判断した。将来的に使用を考えていく。

オンライン上にあるフリーの日本語教材について調べた。最近、日本語指導教材はオンライン上に多く出てきており、その中で副教材として使用できるものを抽出した。

特に優れて使用しやすいものとして、東京外国語大学、公益社団法人国際日本語普及協会から出されているものが内容も充実しており、利用を検討していく。

以上の試みから、教員個人の授業力の向上、また日本語教育未経験の教員が担当したときにも支障なく授業を進めることができる基盤が整備されたと考えられる。

3. 夜間学級生徒は昼間部生徒と異なり、多くの生徒が、社会人として職業を持っており、通勤等での感染リスクがある。また年配者も在籍していることから、新型コロナウイルス感染症対策に、より一層の留意が必要である。

。文花中学校では、通常の検温、消毒、クリーニングとともに教卓にアクリルボードを設置した。また、行事等も精選し、移動教室においては、バス移動については通常1台のところ2台利用し生徒間の距離を十分とれるよう工夫した。

また、スピーチ大会など会場を使用した行事も人間距離が十分とれる態勢で実施した。

給食については喫食場所を4カ所に分け、配膳片付けは職員が行い、飛沫感染を防ぐ態勢を整えた。